

「移住なら北海道」2位

総務省が首都圏の住民に移住したい道府県を尋ねたアンケートで、北海道が全国2位になった。移住促進のための情報拠点として同省が3月下旬に東京都内に開設した「移住・交流情報ガーデン」で、8月末までの利用

移住先として 人気の上位5道県

- | | |
|---|-----|
| 1 | 長野県 |
| 2 | 北海道 |
| 3 | 島根県 |
| 4 | 静岡県 |
| 5 | 山梨県 |

首都圏住民にアンケート

者約6500人を対象に調べ、約700人が回答した結果。実際に移住につながるには、就業先の確保が課題となりそう。最も人気が高かったのは長野県だった。3位は島根県で、以下は静岡県、山梨県の順。道府県別の回答者数は明らかにしていない。全体の回答者は20代が19%、30代が25%、40代が23%と、若い世代も積極的に移住を検討している実態が浮かび上がった。時期は「1年以内」の22%を含め、「3年以内」と答え

働く場の創出かぎ

た人が36%に上った。総務省は北海道が2位となった理由について、知名度があるほか、8月末までの約5カ月間に胆振管内厚真町など道内5自治体が「ガーデン」で移住相談会を開いたことで関心が高まったとみている。こうした人々を移住につなげることに、北大公共政策大学院の小磯修二特任教授は、農業や林業など地域特性に合った働く場の創出がかぎになると指摘。「迎え入れる側がどのような人を求めているかメッセージを発信することで、移住を希望する人が行動を起こしやすくなる」と話した。